



# 日本獣医師会学会関係情報



日本産業動物獣医学会・日本小動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会

日本獣医師会学会からのお知らせ

☆令和元年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 日本獣医師会主催企画のご紹介

\*講演者、講演タイトルは変更になることがあります。

## 大会1日目 令和2年2月7日(金)

〔13:00～16:00 第6会場(G棟5階・G502)〕

市民公開シンポジウム「獣医師の働き方改革, 新たなステージへ 一乗り遅れないためのヒント」

【基調講演】獣医師こそ地球を救う

～日本初の女性臨床獣医師からのメッセージ～……………柴内裕子(赤坂動物病院)

小動物臨床分野における取組事例と改善方策……………原 大二郎(家庭動物医療施設 獣徳会)

女性活躍のための取組みと課題……………白岩利恵子(岩手県獣医師会食鳥検査センター)

老若男女獣医師が働きがいを感じられる診療所経営の方法……………上松瑞穂(宮崎県農業共済組合生産獣医療センター)

教育現場における取組みの紹介……………畑江敬子(お茶の水女子大学)

〔総合討論〕

〔16:00～18:00 第6会場(G棟5階・G502)〕

教育講演「獣医師に求められる知識・能力と役割」

獣医師に求められること、獣医師が守るべきこと

～新たな基本方針案を踏まえて……………末谷桃子(農林水産省)

獣医療技術向上に向けた環境整備～認定・専門獣医師制度の構築……………境 政人(日本獣医師会)

産業動物分野における専門獣医師構想……………佐藤 繁(岩手大学)

## 大会2日目 令和2年2月8日(土)

〔09:00～12:00 第1会場(B棟7階・ホールB7)〕

連携シンポジウム「One Healthに関する連携シンポジウム～ダニ媒介性感染症と予防対策」

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の現状—その1……………西條政幸(国立感染症研究所)

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の現状—その2……………前田 健(国立感染症研究所)

紅斑熱に関する最近の話題……………安藤秀二(国立感染症研究所)

ダニ媒介性感染症に関する最近の話題……………未 定

臨床現場におけるダニ媒介性感染症対策……………忽那賢志(国立国際医療研究センター)

未 定

〔14:00～16:30 第6会場(G棟5階・G502)〕

シンポジウム「動物愛護法改正を知る～マイクロチップの装着・登録における獣医師及び獣医師会の役割」

【基調講演】動物愛護法改正内容の解説……………未 定

マイクロチップの装着・登録における獣医師会の役割……………境 政人(日本獣医師会)

未 定……………田中亚紀(日本獣医生命科学大学)

〔総合討論〕

## 大会3日目 令和2年2月9日(日)

〔09:30～12:00 第5会場(G棟6階・G610)〕

シンポジウム「愛玩動物看護師法～成立までの経緯・法の概要と今後の取組み～」

愛玩動物看護師法の概要……………未 定

獣医師会の取組みと獣医師の役割～高度なチーム獣医療の提供に向けて……………大林清幸(日本獣医師会)

日本動物看護職協会の役割と取組み……………横田淳子(日本動物看護職協会)

〔総合討論〕

〔13:00～15:00 第6会場(G棟5階・G502)〕

シンポジウム「豚コレラ対策として求められる野生イノシシの生態学的・行動学的知見と防疫対応の考え」

豚コレラ防疫のためのイノシシの密度管理

～捕獲強化策に対する「効果検証」の可能性と必要性～……………横山真弓(兵庫県立大学)

効果的な養豚農場への侵入防止対策ならびにワクチン散布と捕獲に

関わる留意点～イノシシの行動学的特性を踏まえて～……………江口祐輔(農研機構西日本農業研究センター)

野生動物管理策の前提として不可欠な「実現可能性分析」

～外来生物対策における先行事例を踏まえて～……………池田 透(北海道大学)